

令和元年度 『六甲山の災害展』 報告書



一般社団法人 兵庫県治山林道協会

実施概要

「六甲山の災害展」

<実施概要>

目的：過去から度重なる土砂災害や地震等が発生している六甲山系の災害の状況等に対する普及啓発を通じて、県民の土砂災害に関する知識や防災意識の向上、自助意識の喚起を図る「六甲山の災害展」における設営等業務を行い、災害展の円滑な運営を行うことを目的とする。

主催：兵庫県神戸県民センター六甲治山事務所（神戸土木事務所）
兵庫県農政環境部農林水産局治山課・県土整備部土木局砂防課
近畿地方整備局六甲砂防事務所
神戸市
阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター

会場：阪神・淡路大震災記念
「人と防災未来センター」西館1F



開催期間：令和元年8月14日（水）～令和元年8月25日（日）
※月曜休館日

開催時間：火～木、日／9:15～18:15（入館は17時まで）
金、土／9:15～19:15（入館は18時まで）

来場者数：延べ3,274人

来場者数

開催期間 令和元年8月14日（水）～8月25日（日） 19日（月）休館日 全11日間
 開催時間 火・水・木・日／9時15分～18時15分（入館は17時まで）
 金・土／9時15分～19時15分（入館は18時まで）
 来場者数 3,274人

日にち別来場者推移

日	人数	
14日(水)	278	初日報道
15日(木)	31	台風
16日(金)	269	
17日(土)	416	土曜・無料開放
18日(日)	416	日曜
20日(火)	605	
21日(水)	152	
22日(木)	98	
23日(金)	141	
24日(土)	531	土曜・サマーフェス
25日(日)	337	日曜
合計	3,274	



時間帯別来場者推移

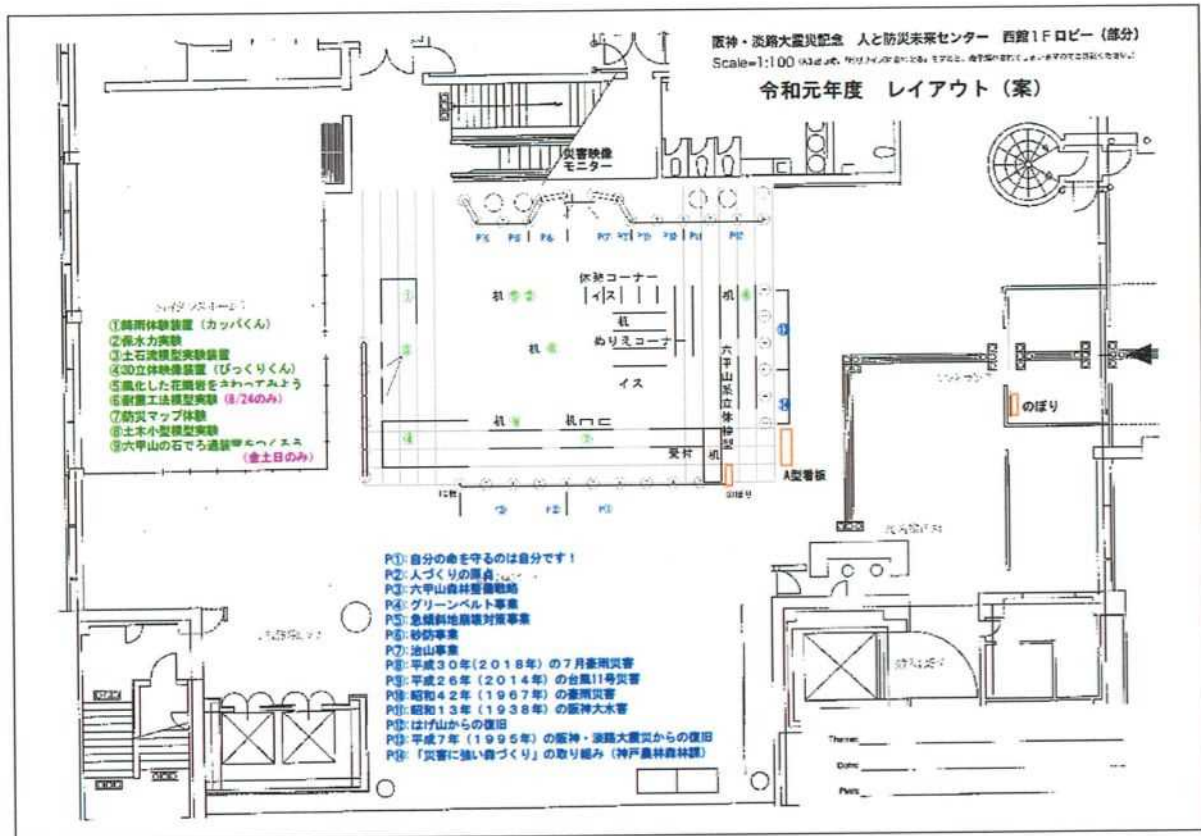
時間	人数
9:30～11:00	728
11:00～12:00	445
12:00～13:00	401
13:00～14:00	401
14:00～15:00	394
15:00～16:00	432
16:00～17:00	257
17:00～18:00	177
18:00～19:00	39
合計	3,274



開催年度（期間）	来場者数(人)	前年度比	日数
R元 (8/14～8/25)	3,274	81.28%	11日間
H30 (8/14～8/26)	4,028	121.95%	12日間
H29 (8/15～8/27)	3,303	109.92%	
H28 (8/16～8/28)	3,005	98.82%	
H27 (8/11～8/23)	3,041	88.63%	
H26 (8/19～8/31)	3,431	95.46%	
H25 (8/20～9/1)	3,594		

開始年度	平成9年度	開催年数	23年
------	-------	------	-----

会場レイアウト



<パネル展示>

<実験装置展示>

- ①降雨体験装置 (カッパくん)
- ②保水力実験
- ③土石流模型実験装置
- ④3D立体映像装置 (びっくりくん)
- ⑤風化した花崗岩をさわってみよう
- ⑥耐震工法模型実験
- ⑦防災マップ体験
- ⑧土木小型実験
- ⑨六甲山の石でろ過装置をつくろう

- ①自分の命を守るのは自分です!
- ②人づくりの原点
- ③六甲山森林整備戦略
- ④グリーンベルト事業
- ⑤急傾斜地崩壊対策事業
- ⑥砂防事業
- ⑦治山事業
- ⑧平成30年(2018年)の7月豪雨災害
- ⑨平成26年(2014年)の台風11号災害
- ⑩昭和42年(1967年)の豪雨災害
- ⑪昭和13年(1938年)の阪神大水害
- ⑫はげ山からの復旧
- ⑬平成7年(1995年)の阪神・淡路大震災からの復旧
- ⑭「災害に強い森づくり」の取り組み(神戸農林森林課)

会場レイアウト

<実験装置展示>



①降雨体験装置 (カッパくん)



③3D立体映像装置 (びっくりくん)



⑥土木小型模型実験



②保水力実験



④土石流模型実験装置



⑤風化した花崗岩をさわってみよう



会場レイアウト

<受付>



<キッズコーナー>



会場レイアウト

<防災マップ体験>



<自分を守るのは自分です！>



<人づくりの原点>



<六甲山森林整備戦略>



会場レイアウト

<グリーンベルト事業>



<急傾斜地対策事業>



<治山事業>



<砂防事業>



会場レイアウト

<平成30年(2018年)の7月豪雨災害>

<平成26年(2014年)の台風11号災害>

<昭和42年(1967年)の豪雨災害>



会場レイアウト

<昭和13年（1938年）の阪神大水害>



<はげ山からの復旧>



<平成7年（1995年）の阪神・淡路大震災からの復旧>



<DVD 放映>



会場レイアウト

<「災害に強い森づくり」の取り組み>



<HP閲覧コーナー>



<六甲山系立体模型>



制作物

●A型看板



制作物

■コーナーサイン (W900×H200mm) 各1枚

平成30年(2018年)の7月豪雨災害

平成26年(2014年)の台風11号災害

昭和13年(1938年)の阪神大水害

はげ山からの復旧
150年前は はげ山だった

3D立体映像装置「びっくりくん」

■コーナーサイン (W1500×H200mm) 1枚

平成7年(1995年)の阪神・淡路大震災からの復旧

■コーナーサイン (W600×H500mm) 1枚

放映プログラム

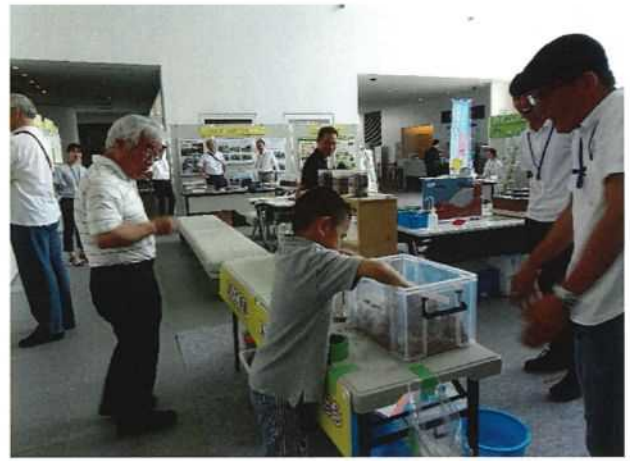
- 「昭和42年災害を振り返る」
～昭和42年豪雨災害体験者のインタビュー～ (六甲防災事務所)
防災啓発動画～サウンドアート～ (神戸市)
- 「阪神大水害記録」(神戸市)
「阪神大水害記録映像」～兵庫県・三宮～ (六甲防災事務所)
防災啓発動画～サウンドアート～ (神戸市)
- 「山地災害に備えて」～ひょうごの治山事業の智慧～ (兵庫県)
防災啓発動画～サウンドアート～ (神戸市)
- 「昭和42年災害」
～カラー編集映像「平谷川・青ヶ原」～ (六甲防災事務所)
防災啓発動画～サウンドアート～ (神戸市)

実施風景



実施風景







令和元年度『六甲山の災害展』アンケート

本日は、『六甲山の災害展』にご来場いただきありがとうございました。
より良いイベントにしていくため、アンケートにご協力をお願いします。
当てはまるものを○で囲んで下さい。

1 本日は、どちらから来られましたか？

- ①神戸市内 ②阪神地区 ③播磨地区 ④但馬地区
⑤丹波地区 ⑥淡路地区 ⑦他都道府県(近畿府県・その他)

2 あなたの年齢を教えてください。

- ①12歳以下 ②13歳～18歳 ③19歳～30歳 ④31～40歳
⑤41歳～65歳 ⑥65歳以上

3 あなたの職業を教えてください。(退職されている方は現役時の職業)

- ①自営業 ②会社員 ③公務員・教師 ④パート・アルバイト
⑤専業主婦 ⑥学生 ⑦その他 ()

4 六甲山の災害展はどこで知りましたか？

- ①兵庫県ホームページ ②新聞・テレビ・ラジオ ③パンフレット
④口コミ ⑤人と防災未来センターに来場して知った
⑥その他 ()

5 人と防災未来センターへ来場のきっかけは？

- ①研修 ②観光 ③イベントへの参加 ④学校の宿題
⑤興味があった ⑥ぶらっと立ちよった ⑦その他 ()

6 お住まいの地域で、不安を感じる災害はありますか。(3つまでお書きください)

- () 地震 () かけ崩れ () 土石流 () 地すべり
() 洪水 () 津波 () ため池

7 災害から身を守るために、あなたがやっていることはありますか？

(複数でも結構です)

- ①兵庫県CGハザードマップで危険箇所チェック
②避難場所、避難経路の確認
③防災グッズの準備 (何を)
④防災訓練等への参加
⑤その他 具体的に ()

裏面のご記入もお願いします



8 あなたは土砂災害防止区域（イエローゾーン等）の事を知っていますか？

- ① 知っています ② 知りません

9 展示の内容で、印象に残ったものはありますか？（3つまでお書きください）

■パネル展示

- ①自分の命を守るのは自分です！ ②人づくりの原点 ③六甲山森林整備戦略
④グリーンベルト事業 ⑤急傾斜崩壊対策事業 ⑥砂防事業 ⑦治山事業
⑧過去の豪雨災害と復旧（平成30年、平成26年、昭和42年、昭和13年）
⑨はげ山からの復旧 ⑩平成7年の阪神・淡路大震災からの復旧
⑪「災害に強い森づくり」の取り組み

■体験装置

- ①降雨体験装置「カッパくん」 ②ペットボトル保水力実験 ③土石流模型実験
④3D映像「びっくりくん」 ⑤風化した花崗岩を触ってみよう ⑥耐震工法模型実験
⑦土木小型模型実験 ⑧六甲山の石でろ過装置を作ろう！ ⑨ペットボトルろ過器をつくろう！

■記録映像の放映等

- ①記録映像の放映 ②阪神大水害デジタルアーカイブ

■防災マップ

- ①パソコン操作体験 ②マップ閲覧

■その他

（

）

10 災害展を見て、あなたの防災に対する意識は向上しましたか？

- ①はい ②少し変わった ③あまり変わらない ④いいえ ⑤わからない

11 災害展を見てあなたがすぐにしようと思ったことは何ですか？

その他、感想についても自由にご意見をお聞かせ下さい。

★すぐにしようと思ったこと

★その他感想

ありがとうございました。

貴重なご意見を参考にさせていただきます。

兵庫県（治山課・砂防課・六甲治山事務所、神戸土木事務所）
国土交通省近畿地方整備局六甲砂防事務所、神戸市建設局防災部防災課



令和元年度「六甲山の災害展」アンケート集計結果

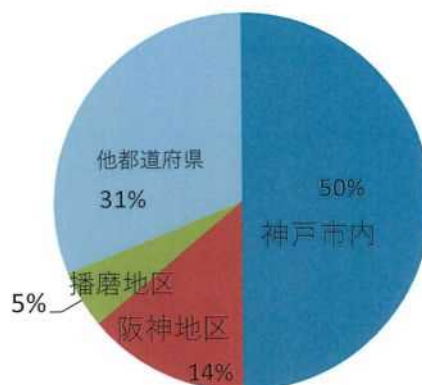
令和元年8月14日(水)～8月25日(日) 11日間 (8月19日休館日)
人と未来防災センター1階

アンケート数 122 枚

(裏面白紙 27枚)

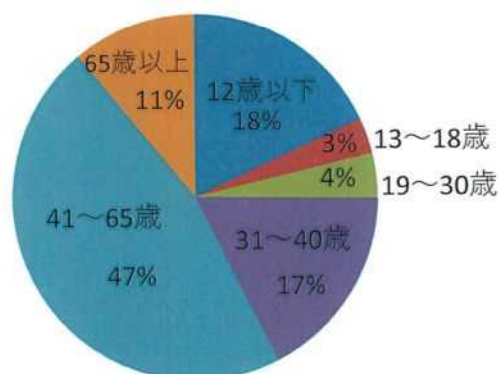
1. 本日は、どちらから来られましたか？

	数	比率
① 神戸市内	61	50.0%
② 阪神地区	17	13.9%
③ 播磨地区	6	4.9%
④ 但馬地区	0	0.0%
⑤ 丹波地区	0	0.0%
⑥ 淡路地区	0	0.0%
⑦ 他都道府県	38	31.1%
計	122	100.0%



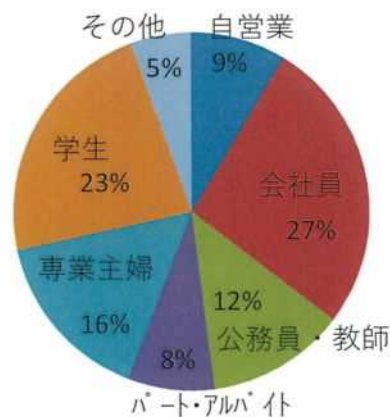
2. あなたの年齢を教えてください。 (家族で1枚に記入のアンケートあり)

	数	比率
① 12歳以下	23	18.1%
② 13歳から18歳	4	3.1%
③ 19歳から30歳	5	3.9%
④ 31歳から40歳	22	17.3%
⑤ 41歳から65歳	59	46.5%
⑥ 65歳以上	14	11.0%
計	127	100.0%



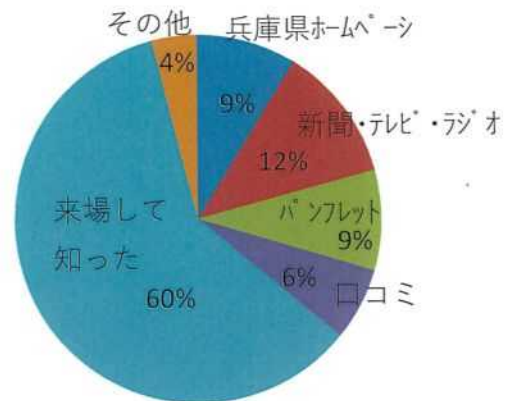
3. あなたの職業を教えてください。 (家族で1枚に記入のアンケートあり)

	数	比率
① 自営業	11	8.7%
② 会社員	34	26.8%
③ 公務員・教師	16	12.6%
④ パート・アルバイト	10	7.9%
⑤ 専業主婦	20	15.7%
⑥ 学生(小学生含む)	29	22.8%
⑦ その他	7	5.5%
計	127	100.0%



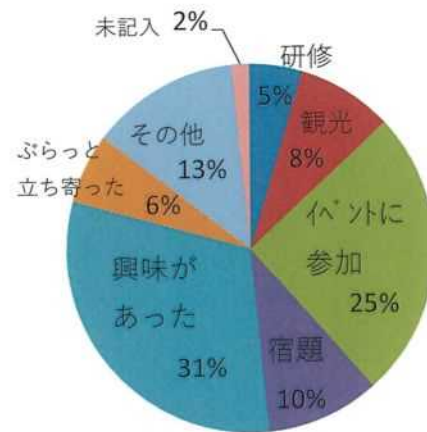
4. 六甲山の災害展はどこで知りましたか？
(複数回答あり)

	数	比率
①兵庫県ホームページ	11	8.8%
②新聞・テレビ・ラジオ	15	12.0%
③パンフレット	11	8.8%
④口コミ	8	6.4%
⑤人と防災未来センターに来場して知った	75	60.0%
⑥その他	5	4.0%
計	125	100.0%



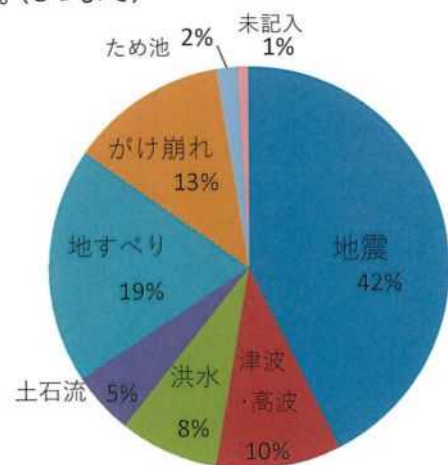
5. 人と防災未来センターへ来場のきっかけは？
(複数回答あり)

	数	比率
① 研修	6	4.6%
② 観光	11	8.5%
③ イベントへの参加	33	25.4%
④ 学校の宿題(子供の付添い含む)	13	10.0%
⑤ 興味があった	40	30.8%
⑥ ぶらっと立ち寄った	8	6.2%
⑦ その他	17	13.1%
⑦ 未記入	2	1.5%
計	130	100.0%



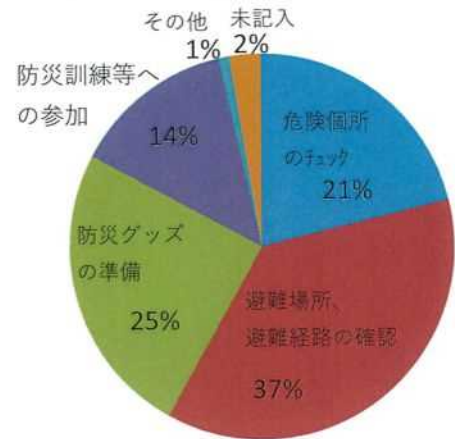
6. お住まいの地域で、不安を感じる災害の順番をつけてください。(3つまで)

	数	比率
① 地震	101	42.6%
② 津波・高波	24	10.1%
③ 洪水	19	8.0%
④ 土石流	12	5.1%
⑤ 地すべり	45	19.0%
⑥ がけ崩れ	30	12.7%
⑦ ため池	4	1.7%
未記入	2	0.8%
計	237	100.0%



7. 災害から身を守るために、あなたがやっていることはありますか？（複数でも結構です）

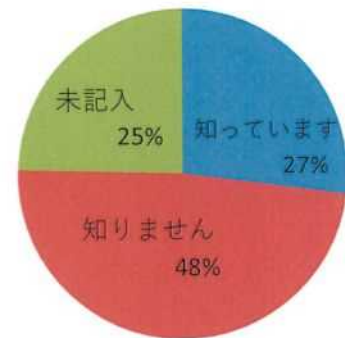
	数	比率
①兵庫県CGハザードマップで危険個所チェック	48	21.1%
②避難場所、避難経路の確認	84	37.0%
③防災グッズの準備	56	24.7%
④防災訓練等への参加	31	13.7%
⑤その他(具体的に)	2	0.9%
未記入	6	2.6%
計	227	100.0%



- ③ 防災グッズで準備しておくもの(何を)
 水・非常食(缶詰・インスタントラーメン・乾パン)・食品(ローリングストック)
 コンロ・電源・光(ろうろうく・マッチ)・携帯トイレ・ヘルメット・カイロ・ウエットティッシュ
 防災リュックにたべものや生活に在る物
- ⑤ 自分で災害ボランティアをやっている／耐震の止め具等

8. あなたは土砂災害防止区域(イエローゾーン等)の事を知っていますか？

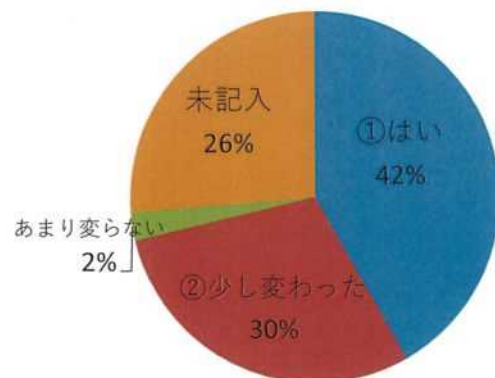
	数	比率
① 知っています	33	27.0%
② 知りません	59	48.4%
未記入	30	24.6%
計	122	100.0%



9. 展示の内容で、印象に残ったものはありますか？（次ページ）

10. 災害展を見て、あなたの防災に対する意識は向上しましたか？

	数	比率
①はい	51	41.8%
②少し変わった	36	29.5%
③あまり変わらない	3	2.5%
④いいえ	0	0.0%
⑤わからない	0	0.0%
未記入	32	26.2%
計	122	100.0%

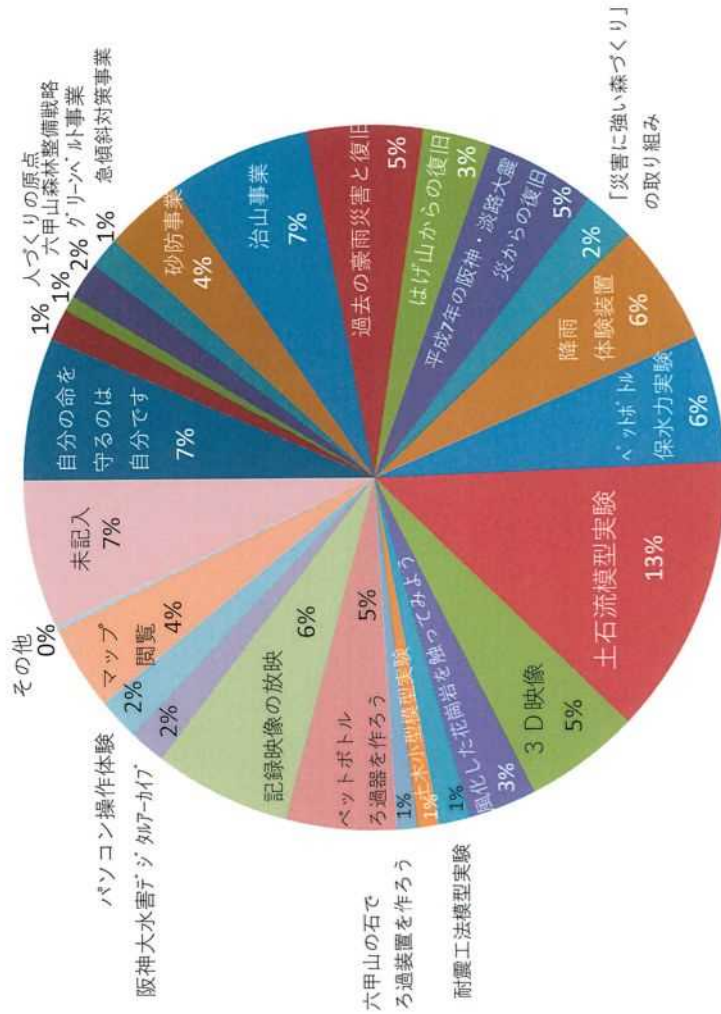


9. 展示の内容で、印象に残ったものはありませんか？

(3つまでお書きください。)

(各項目ごとに○をしている方が多数のためすべての○をカウント)

項目別	数	比率	項目別
① 自分の命を守るのは自分です	27	6.5%	
② 人づくりの原点	6	1.5%	
③ 六甲山森林整備戦略	3	0.7%	
④ グリーンベルト事業	7	1.7%	
⑤ 急傾斜対策事業	6	1.5%	
⑥ 砂防事業	15	3.6%	38.0%
⑦ 治山事業	27	6.5%	
⑧ 過去の豪雨災害と復旧	22	5.3%	
⑨ はげ山からの復旧	13	3.1%	
⑩ 平成7年の阪神・淡路大震災からの復旧	21	5.1%	
⑪ 「災害に強い森づくり」の取り組み	10	2.4%	
① 降雨体験装置「カップくん」	23	5.6%	
② ハットトルの保水力実験	24	5.8%	
③ 土石流模型実験	53	12.8%	
④ 3D映像「びっくりくん」	22	5.3%	41.2%
⑤ 風化した花崗岩を触ってみよう	13	3.1%	
⑥ 耐震工法模型実験	6	1.5%	
⑦ 土木小模型実験	4	1.0%	
⑧ 六甲山の石でろ過装置を作ろう！	4	1.0%	
⑨ ハットトルろ過器をつくろう！	21	5.1%	
① 記録映像の放映	26	6.3%	8.0%
② 阪神大水害デジタル7-カイブ	7	1.7%	
① パソコン操作体験	8	1.9%	5.8%
② マップ閲覧	16	3.9%	
その他	1	0.2%	0.2%
未記入	28	6.8%	6.8%
計	413	100.0%	100.0%



11-1 すぐにしようと思ったこと

防災グッズを集める

ハザードマップの再確認

取り巻く環境の把握。身近な溝などの掃除、整備

特別区域などの確認

もう一度地図を確認しておこうと思った

危険個所のチェック、避難経路などの再確認

次の世代に伝えようと思った。

様々な事業について理解を深める

自分だけでなく人のことも命をまもりたいです。

防災の時に必要な準備

防災グッズの準備

ハザードマップの確認

降雨状況通知システムの登録 ハザードマップの確認

防災の用意をしようとおもった

治山とはほど遠い小さなレベルですが、家の前の側溝のそうじをしようと思いました。

防災グッズを増やす。地震対策

避難経路の確認、避難の準備

防災グッズのチェック

ハザードマップの再確認

今自分が住んでいる所の安全性

防災意識の向上

持ち出し袋の準備

家の耐震性能の確認

家族での話し合い。ストックかくにん

避難ルートの確認

防災グッズのじゅんぴ

子ども達に伝えようと思えないと思いました。

私がどこにいて、なにがあぶないかどうかを調べた。

防災グッズの再点検

部屋の物の位置を確認する

増水時には川に近づかない(子供からの感想)

防災に備え、耐震など、しようと思った。

足りない防災グッズを揃える事

大雨が降った時に、どの辺りが危険になるのか、子どもと確認しようと思いました。

自分の住んでいる街にどういう災害知る事が大切

水害の原因を学ぶ

防災グッズの準備

部屋の中の整理整頓

危険な場所には近づかない

防災グッズをそろえる

地域ハザードマップの確認

はやくひなんしようとおもいました

防災データ 自助の大切さ

防災グッズの準備

防災グッズの点検

配布されているハザードマップの再確認をする

防災グッズはまだ準備できていないので、しようと思う。

家族の防災たいさく

11-2 その他

すごく楽しかったです

紙面で見ただけより、実際に模型を見たり体験すると記憶に残りやすそうと思いました。

防災のしかたがよく分かりました。

阪神淡路大震災が注目されるなか、六甲山などの山陸地帯ではどのような防災整備をしているのがよく分かった。砂防ダムが山にいっぱいあって、予算がそんなにも次ぎ込まれていることを知らなかった。改めて山々の取り組みについてちゃんと知ろうと思った。

色んなことを知ることができました。ありがとうございました。

皆さん親切に教えていただいてありがたかったです。ここに来た子供が学び、防災への興味を持ってくれたらとても嬉しいです。

砂防ダムの多さと重要性を感じた

とてもこわかったです。（雨）

色々な実験を見せて頂いて土砂災害について改めて知ったことが沢山ありました。とても勉強になりました。ありがとうございました。

治山ダムの装置がリアルでわかりやすかった。

防災への意識を高める良い機会になったと思う

子供が体験できる企画がたくさんあり、身近な六甲山のことがよく分かったと思う。

治山ダムの有効性、がけ崩れなどのしくみがよくわかった。

行政の継続的な防災活動をもっと知らしめて下さい。ご苦労様です

子どもの興味をひく装置で、より身近に学ぶことができたと思う。危機管理の意識も高まったと思う。もっと多くの市民が人防へ来るようにPRして下さい。

スタッフの方が大変親切であった

ろ過器を初めて作れたのがとてもよかったです。

災害は必ず起きるので、10年100年先を考え先人が防災の工夫、工事、植林に感謝しました。

ダムが200基設置されていることに少し驚きと安心感を感じました

転居してきたので、地域のことは、気にかかり調べました。今回の展示であらためて防災について考えられました。

子どもの土砂災害の意識や知識が高まって良かったです。

いろいろなことが分かって、勉強になった。

災害の記憶は忘れてはいけないと思った。

被災者を思うと辛くなります。今の幸せに感謝し続けられるよう願います。

京都のように、体感できる体験コーナーがあればいいなと思います。

体験して子どもでも分かりやすく学べて良かったです。

砂防ダムと治山ダムの役割の違いを知ること出来た。身近で目にしているのに役割について知らなかった事を恥ずかしく思いました。

普段、目にしない模型などで体験や学びがしやすかったのがよかった。

広島土石流のことを思い出しました。やはり事前の準備（特に砂防ダム・治山ダム）が必要だと痛感しました。

愛知県より夏休みを利用してきました。息子も考えるきっかけになった様子です。ありがとうございました。

職員の方々が熱心にされていた

勉強になりました

自助 優災 減災にそなえる

たくさんの体験をさせてもらった。楽しかった。

工作しながら防災を学べて、楽しかった

大変丁寧に教えて頂き、子供も遊びながら防災等について学ぶことができました。ありがとうございました。